

行政視察報告書

令和 2 年 1 月 16 日

会 派 名 令 政 会
会派代表者：尾関 昭
(参加者：中野 裕二)

行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和 元 年 12 月 20 日 (金)
視察時間	13 : 00 ~ 15 : 00
視 察 先	京都市南部クリーンセンター
視察項目	京都市南部クリーンセンター第二工場 (バイオガス化施設) について

行政視察報告書

①

年月日	令和元年12月20日(金)
視察時間	13:00~15:00
視察先	京都市南部クリーンセンター第二工場
視察項目	京都市南部クリーンセンター第二工場(バイオガス化施設)について
■目的 全国でも4カ所しかない、クリーンセンター内にバイオガス化する施設を有する京都市クリーンセンターの投資コスト、ランニングコスト、売電効果、ゴミ減量等を視察し、江南市の建設予定の新ゴミ処理場建設に役立てるため。	
■内容 京都市南部クリーンセンター概要 ●焼却施設 500t/日(250t/日×2炉) 発電効率約20%の高効率ゴミ発電設備により最大14,000KWを発電 高度な排ガス処理(ろ過式集じん機、湿式ガス洗浄塔、活性炭吸着塔、脱硝反応塔) ●バイオガス化施設 60t/日(30t/日×2系統) 約9,000m ³ /日のバイオガスを回収(最大1,000KW発電) ●選別資源化施設 ・高速回転式破砕機140t/日・弾性ゴミ切断機40t/日 磁選機による鉄の回収及びアルミ選別器によるアルミの回収 ●環境学習施設「さすてな京都」 世界最先端の環境技術を体験でき、ゴミ減量はもとより、生物多様性や再生可能エネルギーなどについても楽しく学べる、京都議定書誕生の地にふさわしい環境学習の拠点として整備 京都市は、ゴミの減量・再資源化等の推進により、ピーク時には5工場あったクリーンセンターを、3工場体制に統合し、環境負荷の低減と大幅なコスト削減を実現した。	

■所感

バイオガス化施設を建設すると国庫補助の割合が2分の1相当入り、バイオガスの売電割合は高いため、ゴミ処理の売電と合わせて年間10億円程度になる。しかし、バイオガスを回収するには、時間がかかる為に施設面積がいることが、今後の課題になるとの見解。令和元年10月に稼働されたばかりで今後の課題も抽出されていない。江南市として、建設していくのか、否かは今後の状況を注視する必要があると感じた。